

2022年5月6日

各 位

会社名 株式会社シード
 代表者 代表取締役社長 浦壁 昌広
 (コード番号 7743・東証プライム市場)
 問い合わせ先 取締役管理本部長 杉山 哲也
 TEL 03-3813-1111 (大代表)

通期業績予想の修正及び特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2022年3月期におきまして、2021年5月12日付当社「2021年3月期決算短信」において発表いたしました、2022年3月期通期業績予想について、下記のとおり修正するとともに、特別利益・特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期（連結・個別）業績予想の修正

①連結通期業績予想の修正

(単位：百万円※単位未満切捨て表示)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	29,500	1,250	1,150	600	23.97円
今回修正 (B)	28,800	1,150	1,130	1,150	45.94円
増減額 (B - A)	△700	△100	△20	550	
増減率	△2.4%	△8.0%	△1.7%	91.7%	
参考：前期実績	28,617	1,195	1,211	1,129	45.13円

②個別通期業績予想の修正

(単位：百万円※単位未満切捨て表示)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	26,700	1,550	1,450	1,000	39.95円
今回修正 (B)	26,100	1,660	1,630	1,480	59.12円
増減額 (B - A)	△600	110	180	480	
増減率	△2.2%	7.1%	12.4%	48.0%	
参考：前期実績	25,517	1,777	1,788	△419	△16.76円

2. 修正理由（連結・個別）

通期業績予想につきましては、主力である純国産の「ワンデーピュアシリーズ」を中心に市場の伸長が最も見込まれる遠近両用コンタクトレンズおよびオルソケラトロジー等の高付加価値商品の拡販に注力してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の長期化による国内外のコンタクトレンズ需要低迷により、連結・個別ともに売上予想を下方修正することといたしました。

個別の営業利益および経常利益につきましては、生産性の向上や経費削減等によるコスト削減に努めた結果、前回予想を上回る見込みとなりました。一方で、連結の営業利益および経常利益につきましては、子会社を含めた売上高の目標未達に加え、同感染症の長期化により、海外の事業採算が低調に推移したため、前回予想を下回る見込みとなったことから、下方修正することといたしました。また、11月に計上した国内子会社の一部小売事業譲渡益（337百万円）および下記3.に記載した特別利益の計上に伴い、連結・個別ともに当期純利益を上方修正することといたしました。

なお、当連結会計年度（当事業年度）の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。2021年3月期と同様の算出方法とした場合の前期実績に対する増減率は以下のとおりです。

2022年3月期通期：売上高 3.4%増（連結）／5.3%増（個別）。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益への変更はありません。

2022年3月期の決算発表につきましては、当初の予定通り5月10日を予定しております。

3. 特別利益の内容

- ・ 出資会社の株主変更に伴う当社保有株式の売却益 114百万円

当社の出資会社であるコンタクトレンズ材料、ケア用品の研究開発および製造販売を行うAcuity Polymers社が外部へ買収されたことから、当社保有株式についても同時に売却を行ったため、売却益を特別利益として計上いたします。

4. 特別損失の内容

- ・ 出資会社に関連する損失 66百万円

中国でオルソケラトロジーレンズの製造販売を行う出資会社が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により治験の進捗が遅れ、これにより全体の事業計画が後ろ倒しとなり、同社株式の評価について減損損失を計上いたします。

5. 配当金について

2022年3月期の期末配当につきましては、2021年5月12日に公表いたしました1株当たり12円の予想から変更はございません。

【業績等の予想に関する注意事項】

当該資料に掲載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

以 上